

森林文化情報学特論 (2単位)

担当者氏名 宮林茂幸・佐藤孝吉

◆学習・教育目標

森林文化情報学は、森林計画学や森林経営学あるいは林業経済学や林政学を基礎に、森林の利用・林業・山村・林産業などに関する多様な情報を分析し、現代社会から未来社会を見据えた森林の文化的・社会的・経済的な利用法やそのための森林計画のあり方、地域政策のあり方、あるいは森林教育や森林レクリエーション利用などのための森林計画と森林・林業教育や地域づくりのあり方について文献購読や現地調査分析によって論究する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域政策 _____ 森林計画 _____ 山村経済 _____ 環境経済政策 _____
 地域計画 _____ 森林経営 _____ 森林教育 _____ 地域振興 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	森林資源論	世界の森林資源情報を分析する	授業は、宮林・佐藤・関岡の3名の分担によって進める。授業の進め方は、担当教員によって異なるが、参考文献を中心に読解方式ですすめる。
2	森林利用政策論	森林利用の変遷と政策展開	
3	森林造成政策論	造林政策の展開と現代	
4	林業構造政策論 (1)	70年代目での林業構造政策展開	
5	林業構造政策論 (2)	70～現代における構造政策展開	
6	森林計画論 (1)	森林計画の基本原則と理論	
7	森林計画論 (2)	森林計画制度の展開と森林整備	
8	森林経営論 (1)	森林経営基本原則と理論	
9	森林経営論 (2)	森林経営の地域特性と類型	
10	森林会計	森林の利用と費用、林業会計など	
11	森林教育論 (1)	森林教育の基礎と役割	
12	森林教育論 (2)	森林体験や森林環境教育の課題	
13	森林教育論 (3)	森林教育実践カリキュラム	
14	森林教育と文化 (1)	林業普及の展開と技術	
15	森林経営と文化 (2)	森林経営技術と木材利用	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

担当教員より事前に周知する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

担当教員により事前に周知する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートによって評価する

◆その他受講上の注意事項